

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		伝統的工芸品支援事業				事業区分			担当	
						新規/継続 単独/補助		継続 単独		事務事業No. 040203000537
政策体系上の位置付け										050301
政策体系	総合計画の施策名	0402		商工業の振興						所属課 商工観光課
	政策名	04		活力ある産業のまちづくり						課長名
	施策名	02		商工業の振興						グループ 商工観光グループ
	手段名	03		③石材業の振興						担当者名
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	07	01	02	01	00	単年度繰返し (平成7年度~)			
法令根拠	伝統的工芸品産業の振興に関する法律						商工振興事業			
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
手 段	市内で製造されている伝統的工芸品である真壁石燈籠の振興を図るため、真壁石材協同組合が実施する真壁石燈籠第6次振興計画を支援するとともに、業界団体への参画を行い、販路拡大、新製品の開発、伝統技術の継承及び後継者確保等を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 真壁石材協同組合への補助金交付 850,000円 伝統的工芸品産地交流促進協議会への参画及び負担金交付 300,000円 伝統的工芸品産業振興協会への参画及び負担金交付 50,000円 伝統工芸士の認定、表彰等に関する事務 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	
<ul style="list-style-type: none"> 真壁石材協同組合への補助金交付 伝統的工芸品産地交流促進協議会及び伝統的工芸品産業振興協会への参画及び負担金交付 伝統工芸士の認定、表彰等に関する事務 	各種会議への参加		回	1.00	1.00	10.00	10.00	10.00	
	伝統的工芸品展の開催数		回	5.00	3.00	4.00	4.00	4.00	
	補助金及び負担金の交付額		千円	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 真壁石材協同組合及びその組合員 伝統的工芸品産地交流促進協議会 伝統的工芸品産業振興協会 伝統工芸士 	補助金・負担金交付及び参画を行う組合・団体数		件	3.00	3.00	3.00	3.00	0.00	
	伝統工芸士		人	20.00	17.00	18.00	19.00	20.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
伝統工芸品である真壁石燈籠の振興を図る		伝統的工芸品展出展者数		人	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移				02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定総投入量
投 入 量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	1,200	1,200	1,200			
	事業費計(A)	千円	1,200	1,200	1,200				
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)				04年度事業費 予算 (千円)			
	18 負担金補助及び交付金	1,200						
			合計	1,200				合計

事務事業名	伝統的工芸品支援事業	事務事業No.	40203000537	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成7年4月5日に経済産業大臣指定の伝統的工芸品として「真壁石燈籠」が指定を受けた。 茨城県内の伝統的工芸品産地組合（桜川市/真壁石燈籠、笠間市/笠間焼、結城市/結城紬）が協力して展示会などに出席することにより、消費者に効果的にPRをし、新たな需要開拓に努めた。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・伝統的工芸品の価値を高めたい ・伝統工芸士が高齢化し、また、担い手もない					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 伝統的工芸品の振興は、地域経済の活性化に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 伝統的工芸品である真壁石燈籠の伝承と振興は地場産業の発展につながるものであり、市が支援することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 伝統的工芸士の認定やイベント活動を通し、伝統的工芸品の価値を高めていくことで、石燈籠の需要をさらに増やすことができる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 真壁石燈籠の販路拡大や技術伝承に支障をきたし、石材業の衰退を招く。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 伝統的工芸品は地域間の連携により実施しているものであり、統廃合の可能性はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各団体への補助・参画は本事業に不可欠なものであり、削減する余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 伝統的工芸品である真壁石燈籠の振興は、地域経済全体の振興と結びついている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、各種会議数や伝統的工芸品展の出展者数が減少した。																						
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 真壁石燈籠第6次振興計画に基づき、伝統的工芸品の情報発信等の支援を行う。		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>